

貸 借 対 照 表

エイベックス・アライアンス&パートナーズ株式会社

(2026年 3 月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
〈資 産 の 部〉		〈負 債 の 部〉	
流 動 資 産	1,706	流 動 負 債	1,091
売 掛 金	1,528	短 期 借 入 金	82
商 品	2	未 払 金	772
仕 掛 品	25	未 払 法 人 税 等	35
貯 蔵 品	1	前 受 金	108
前 払 費 用	40	預 り 金	13
未 収 入 金	168	賞 与 引 当 金	54
そ の 他	1	役 員 賞 与 引 当 金	2
貸 倒 引 当 金	△61	未 払 費 用	19
固 定 資 産	51	そ の 他	3
有 形 固 定 資 産	6	固 定 負 債	6
建 物 附 属 設 備	6	そ の 他	6
工 具 器 具 備 品	0		
投 資 そ の 他 の 資 産	45	負 債 合 計	1,097
破 産 更 生 債 権	500	〈純 資 産 の 部〉	
繰 延 税 金 資 産	44	株 主 資 本	661
そ の 他	0	資 本 金	100
貸 倒 引 当 金	△500	利 益 剰 余 金	561
		そ の 他 利 益 剰 余 金	561
		繰 越 利 益 剰 余 金	561
		純 資 産 合 計	661
資 産 合 計	1,758	負 債 ・ 純 資 産 合 計	1,758

(注) 当期純利益 61百万円

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商 品 、 貯 蔵 品	移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）
仕 掛 品	個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）……………定率法

ただし、1998年4月1日以降取得した建物（建物附属設備は除く）並びに2016年4月1日以降取得した建物附属設備については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建 物 附 属 設 備	15年
工 具 器 具 備 品	4～8年

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

(2) その他

①記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

②記載金額が「0」は百万円未満であることを示しております。

③記載金額が「－」は該当金額がないことを示しております。